

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【学習・啓発】			
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	ごみのことをテーマに実施しても、関心のある人が集まる。関心がある方は話を聞くが、ない方にも聞いてもらえるもっと良い方法はないのかと感じる。	市政報告・広聴会につきましては、手法やテーマを毎回検討し実施しておりますが、今後も様々な媒体での広報や実施手法について検討し、様々な世代の方に参加していただけるよう努めてまいります。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	今はマンションに住んでいるが、特に共働きで忙しい若い世代の方が分別をあまりできていない傾向にあるのではないかと感じている。そういった世代の方が今回の市政報告・広聴会にあまり参加していないのではないかと。		その他
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	私が住んでいる70世帯の集合住宅のうち、2週間に1回の紙ごみを出しているのは私ともう一人くらいである。もっと啓発して欲しい。紐でくくらないと持って行ってくれないので、確かに面倒くさい。私はティッシュの箱もフィルムを剥がし、トレットペーパーの芯もハサミを入れて平らにして紙ごみに出している。こうする人が増えれば、燃やすごみの中に紙ごみが混ざることがかなり減るのではないかと。	もやすごみの中には、紙ごみやその他プラ等、資源化が可能なものが多く混入しており、中身の見えない袋を使用できることが適正な分別排出の阻害要因の一つであると推測しています。分別排出の徹底および再資源化を推進する観点から、指定袋制度の導入は一定の効果が得られる有効策であることから、指定袋制度の導入を検討中です。今後も引き続き、分別排出の徹底について、周知啓発に努めます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	その他プラの分別も徹底されていないので、呼びかけをして欲しい。プラごみも70世帯規模で20袋くらいしか出していないが、もっと出るはずである。		今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	分別ごみを四角いコンテナに入れている人が少ない。分別ごみの中に入れてもえるごみに入れている人がいる。黒いごみ袋は何を入れてもOKと思っている。それに甘えている。西宮は楽だなと思う。		今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	以前私が住んでいたところでは、生ゴミや紙ゴミは分けて紙袋で出していたり、プラスチックごみもきちんと分別するように決められていて、市民はみんな徹底できていたが、西宮市は何でも黒いゴミ袋に入れてごみに出してしまう。		その他
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	ワンルームマンションがあるが、家主が西宮市に住んでいないこともある。そして、ごみ置き場も作ってらず、西宮市に建てたマンションのことは自分事と思っていない。そういったマンションを含め「みんなで街をきれいにしよう」と教育していかなければならない。	一定規模以上の住宅を新築する際には、条例によりごみ集積所の設置が義務付けられています。ごみ集積所の清潔保持等、適切な管理がなされていない物件については、所有者または管理会社に対して注意・指導を行っている他、入居者に対する啓発チラシのポスティング等を行っています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	転入者にもごみ捨てに関する資料を渡しているのか。ごみの分別を呼びかけてほしい。	市外からの転入者には、転入手続きの際に「ハローごみ」を配布しています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	西宮市は甘い。ビンにラベルを貼ったままごみに出されている。ビンを色ごとに分別する自治体もあると聞いている。以前、ビンの再生工場を見学して、従業員の方がカレットに不要物が入っていないかを手作業でやっているのを見て大変だと感じた。	ビンに貼られているラベルについては、リサイクル過程において除去されるため、貼ったままでも特に問題はありません。現在、本市では、「もやさないごみ」として缶や陶磁器などとともにコンテナを使用した分別収集を行っており、西部総合処理センターの破砕選別施設へ搬入された後、手選別によりガラスびんを色ごとに分別し、再生工場へ引き渡し、再利用されています。色別の分別収集を行う場合には、分別する色毎のコンテナをごみステーションに並べる必要があります。市内には約16,000ヶ所のごみステーションが存在しますが、約7割のごみステーションが道路や歩道上を利用している本市の現状を鑑みると、色別の分別収集は現実的ではありません。また、分別区分の細分化は収集コストの増に直結することから、分別区分の見直しは慎重を期する必要があります。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	知り合いの賃貸マンションでは、燃やすごみの日だけ、通いで管理の方が掃除に来る。プラごみの日は何も広報されていない。大家が、人件費がかさむからやっていない。だからマンションの住人はプラごみの日があることすら知らない。プレートも貼ってないと言っている。そういうところもある。	ごみ集積所の清潔保持等、適切な管理がなされていない物件については、所有者または管理会社に対して注意・指導を行っている他、入居者に対する啓発チラシのポスティング等を行っています。なお、ステーションプレートの設置は強制ではないため、設置していないごみステーションもあります。	上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	生態系が変わってきており、鳴尾浜で釣りをしても釣れない。子供たちにもっと地球環境について小さな頃から教えていく事業をやっていかないといけない。学校にも訴えかけないといけない。ハード面だけでなく、ソフト面も進めていく必要がある。	次世代である子供達への環境学習を推進していくためには、学校などの教育現場との協働はもとより、市民、事業者、NPO団体など、あらゆる主体との協働が不可欠であることから、現在、「第3次西宮市環境基本計画」に基づき、環境学習事業に取り組んでいるところです。取り組みの一例として、子供達を含めた市民が気軽に、かつ安全に自然環境に触れ、学ぶことのできる環境学習サポートセンターなどの環境学習施設の運営を行っているほか、小学生にエコカードを配布し、環境について学んだり、行動した際に、学校教諭や地域住民などから同カードにスタンプを押印してもらうことができる「エコカード・エコスタンプシステム」の運用などがございます。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	今回の市政報告・広聴会のように、個別のテーマについて市長が話をするというのは画期的である。ただし、市政報告・広聴会を通しての地域の意識改革よりも、学校現場で実施をして、それを家庭で広めていくという方がインパクトが強い。教育現場にどう働きかけをするのか。また、FMラジオやケーブルテレビで伝えていくという方法もある。	引き続き、これらの取り組みを継続するとともに、より多くの人に環境への気づき、学びの機会を提供することができるよう周知・広報についても工夫してまいりたいと考えております。	塩瀬公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	環境については、小さい頃からの教育が重要だと思うが、市の取り組みはどうなっているのか。		山口公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	SDGs（持続可能な開発目標）がクローズアップされているが、市民を巻き込んだ活動をしないとイケない。いかに市民にやる気を出させる啓蒙活動ができるか。見える化もしてほしい。	環境に関わる活動をする中で地域でエコスタンプを押してもらう「エコカード・エコスタンプシステム」や、各地域ごとに課題を話し合い、環境活動に取り組む「エココミュニティ会議」において、各世代の幅広い市民の方が参画し、環境に関する取り組みを進めています。また、市の施策や実績、現状等について、ホームページや市政ニュース等に掲載し、見える化を図っています。今後、より多くの市民や事業者の方に参画していただくため、わかりやすく効果的な広報に努めてまいります。	鳴尾中央センター

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	環境衛生協議会の役員をしており、フードドライブやごみのことについて勉強しているが、皆に伝わっておらず責任を感じるため皆に回覧して地域で分かるようにしていこうと思う。	環境衛生協議会の研修会等の際にフードドライブのチラシを配布しました。チラシの追加配布を希望される場合は、担当課まで直接連絡をお願いいたします。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	環境パネル展・ポスター展の優秀作品、特にごみ・エネルギーを訴えた作品を市役所ロビーに周年で展示してはどうか。また、ポスターは複製して、公民館や市民館に掲示してほしい。	環境パネル展及び環境ポスター展の作品は、市役所本庁舎ロビーや環境学習施設等にて一定期間の展示を行っていますが、展示スペースの都合上、通年展示は困難です。なお、環境ポスター展の優秀作品については、市民や市民団体等からの要望に応じて複製の貸し出しを行っており、市民館等でも掲示されています。また、公用車のボディステッカーや配布用ポケットティッシュのデザインへ採用する等、様々な形で啓発に活用しています。	その他
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	今回の市政報告・広聴会で発表された市長のレクチャー内容をDVDにして貸し出し、学校や公民館、市民館などで活用し、市民の中での議論を呼び起こす。市役所、市の主な施設での常時放映するのも良い。	今回の市政報告・広聴会はビデオ撮影を行っていないため、市長説明内容についてのDVD化などはできておりませんが、今後の参考とさせていただきます。	その他
ごみ・エネルギー ※学習・啓発	公民館や市民館での講座、その他市民講座を「ごみ・エネルギー」の内容で、頻繁に開催すべきである。参加人数すくなくとも継続すべきだと思う。	市民講座等の要望に応じた出前講座のほか、事業者や大学等と連携したエネルギー勉強会や各種イベントを実施しており、引き続き、これらの取組みを継続しながら、エネルギーへの理解を深める機会の創出に努めてまいります。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【ごみ袋】			
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	全国の40%の自治体では、ごみ袋を有料化している。反対もあるかと思うが、ごみ袋を有料化すれば、ごみを減らすという意識が働くと思う。発生そのものを減らすという点では一つの手段だと思う。	もやすごみの中には、紙ごみやその他プラ等、資源化が可能なものが多く混入しており、中身の見えない袋を使用できることが適正な分別排出の阻害要因の一つであると推測しています。分別排出の徹底および再資源化を推進する観点から、指定袋制度の導入は一定の効果が得られる有効策であることから、指定袋制度の導入を検討中です。指定袋制度には、①市が指定するデザインにて作成された袋を用い、袋代にごみ処理手数料を上乗せする有料指定袋制度、②袋代にごみ処理手数料は含めない単純指定袋制度、③市販のごみ袋で構わないが使用できる色を制限する色指定制度の3つの手法がありますが、有料指定袋の導入は市民の経済的負担が大きいため、慎重に検討すべきと考えております。なお、指定袋の容量に関しては、①の有料指定袋または②の単純指定袋を導入する場合には、市販の袋を使用することができなくなりますが、世帯人数や年齢層、あるいはライフスタイルの違いなどにより、各世帯から発生するごみ量には差が生じることから、大・中・小などの複数の容量の袋を用意する必要があると考えております。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	ごみ袋の有料化について、一人暮らしだと大きなごみ袋ではなく、小さな袋で十分である。有料化となってくると、そういった生活にあわせたサイズについても考慮してほしい。		神原公民館
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	神戸市のようにごみ袋の大きさによって金額を変えるなど、良い取り組みをしている自治体の話をしっかり聞いて、真似れば良いと思う。小さいごみ袋は安く、大きいごみ袋は高くして、ごみを捨てるたびにお金がかかることを認識してほしい。		今津公民館
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	新品の袋でごみを出すには賛成できない。レジ袋をマイバッグ代わりに何度か使って、だめになってはじめてごみ袋を使う。新品の袋をごみ袋にするのもったいない。宝塚市でも半透明であれば、プラスチックや生ごみを出せる。半透明であれば、中身もなんとなく分かるし、危険も少ない。		今津公民館
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	指定ごみ袋を使う市もあるなか、西宮市では黒いごみ袋を使っている。プラごみを燃やすごみとして出している人は近所にたくさんいる。指定ごみ袋についてどう考えているか。		上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	西宮市は、燃やすごみはどんな袋で出してもよい。関東や阪神間では見えるようにして出す規則がある。そのあたりきびしくしないとイケない。		鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	我々一人ひとりの意識改革が必要。黒ごみ袋の中には段ボールや紙も入っている。指定袋にしてもよいのではないか。分別を実践していない人がたくさんいるが、個人それぞれが実践するしかない。		鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	一人あたりのごみ量が中核市平均では800グラムの中、西宮市は900グラムとかなり多い。分別が徹底されていないとのことだが、ごみ袋が黒では中身がわからない。ごみの種類ごとに袋の色を変えることでできないか。周りの目を意識することで、自然に習慣化され良い効果が出ると思う。		甲東センター
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	市販のごみ袋とレジ袋では二酸化炭素の排出量が違うのか。レジ袋は1人暮らしの人がごみを出すのにちょうどいい大きさである。20リットルくらいの小さい袋は売っていることが少ない。買うと余計に二酸化炭素が出るのでは。小さい袋を売って欲しい。		甲東センター
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	ごみ袋とマイバッグについては、現状のまま各市民に任せれば良いと思う。袋のサイズなど多様な要望に対応することは行政として無理があり、ゴミ袋を別途購入させることは市民の新たな負担となる。転勤で日本各地に住んだが、行政が指定するゴミ袋は余計なお世話である。		その他
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	「もったいない」の観点から、指定ごみ袋や有料化には反対である。どうせ、有料袋の材質もプラスチックであろう。ごみ処理が財政的に苦しいのであれば、増税すれば良い。必要なことに税金が使われるのは当然だ。		その他
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	プラごみを捨てる際の袋の透明色指定を解除してほしい。完全な透明袋は無料で手に入ることが少なく、新しいごみ袋を買う必要があるため、袋もお金ももったいない。また、ごみ収集の際の中身が見えないことによる危険性においても、「黒以外」なら中身が予想しやすく良いと思う。		その他
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	文教都市、環境学習都市、住みたい街上位と言っている割には、中身が伴っていないなど。特にごみ分別がはっきりです。環境学習等も大切かと思うが、まずは転入者も含めた現在の市民の意識を高めることが重要である。意識を高めて、簡単に運用できるような仕組みを用意しなければ、結局回っていかない。一番悪いのは黒い袋だと思った。何を入れてもわからないので、とにかくこれを止めなければいけないと思う。		その他
ごみ・エネルギー ※ごみ袋	以前住んでいた市は指定袋だったが、プラごみの日が一番ごみの体積が大きかった。西宮でプラごみが少ない理由は燃やすごみへ手軽に出せるからではないだろうか。プラごみは透明袋で面倒かつ有料、そのため燃やすごみに入れるという行動になっているのではないかと思う。燃やすごみもプラごみも手間や経費を対等にするために、ごみ袋は市指定の袋にするべきである。		その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【分別・リサイクル】			
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	ペットボトルは市が回収した後どうなっているのか。中国へ輸出しているのか、それとも近年は中国が受け入れなくなっているため他のアジアの国に輸出しているのか。「お金になる」や「お金にならない」ではなく、自分達が出したものを自分達で処理できないようではいけない。	収集したペットボトルは東部総合処理センターの中間処理施設で不適合物を除去し圧縮梱包してペールの状態にして日本容器包装リサイクル協会に引渡しています。ペールは同協会の委託を受けた業者の再商品化工場へ搬入されて解体、選別、洗浄などの工程を経てフレック化され、国内の加工業者の工場へペットボトル、卵パックや短繊維製品（自動車の内装材、絨毯など）となり、国内の市場に流通しています。現在、ペットボトルのペールは有価で引渡して、黒字となっています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	岐阜県多治見市では不用になるなどした陶磁器から再生食器を作っている。有料で引き取ってもらうようだが、埋立地がなくなることを思えば有料であっても考えていかなければならないのではないのか。	多治見市周辺は美濃焼の生産地であり、全国の陶磁器生産の50%を占めています。陶磁器のリサイクル事業は、陶磁器業者と多治見市がタイアップして行なっているものであり、地元にもそのような業者が在るという事で採算事業として成立しているものと思われます。現在、全国の陶磁器市場は縮小傾向にあり、安価な外国製品との競合にもさらされています。このような状況下でリサイクル陶磁器に需要が見込めるのか、事業を開始するにしても、この辺りの事を慎重に見極める必要が有るものと考えます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	市で回収したプラごみは海外へ輸出されていないのか。	収集されたプラごみ（その他プラスチック製容器包装）は、国内の工場へ再商品化され、最終的には運搬用のパレット等になり、国内で流通しています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	「燃やすごみの中に紙が混じる」という話で、私もシュレッダーのごみも燃やすごみの中に入れていい。シュレッダーのごみを回収する方法を考えて欲しい。	シュレッダーにかけられた紙については、余りに細かく細断されてしまうと紙の繊維が壊れるため、再利用が難しくなるなどの課題があります。個人情報等が記載されている部分のみをシュレッダーにかけ、必要以上にシュレッダーにかけないようにし、出来るだけ資源Bとして分別排出していただくようお願いいたします。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	以前カセットボンベは穴をあけて出すと聞いていたが、今は穴をあけなくてもいいように聞いているがどちらか。	カセットボンベやスプレー缶を穴を開けるときに、引火による爆発など事故の原因になります。カセットボンベやスプレー缶については、穴を開けず、必ず中身を使い切ってからお出しいただくよう周知しています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	「はがき大の紙なら古紙として出して」と市政ニュースに出ていたが、小さいので結びわけにもかないのでどうすれば良いか。	ハガキ等の小さな雑紙については、雑誌やチラシ等の間に挟んでから紐で十字に縛り、資源Bとしてお出しいただきますようお願いいたします。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	出したプラごみはリサイクルされているのか。	プラごみはリサイクルされています。西宮市のごみは収集後に中間処理・圧縮梱包され、日本容器包装リサイクル協会に引渡され、国内で運搬用パレット等、別のプラ製品にリサイクルされており、国内で流通しています。	上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	ごみを捨てる時、プラごみの弁当箱などでも、妻は「きれいに洗わない」と気にしている。もっと簡便に捨てられればプラごみの分別ももっと進むのではないのか。	弁当ガラ等のその他プラについては、ラベルを剥がし、汚れているものはふき取るか水ですすいでからお出しいただきますようお願いいたします。なお、汚れが落ちないものについては、その他プラとして分別排出されると適切なリサイクルができなくなるため、処理過程において手選別により除去する必要があることから、燃やすごみとしてお出しただいて構いません。汚れの程度については、個人の感覚にもよりますが、市HPやハローごみにて写真を掲出していますので、参考としてご覧ください。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	プラごみを出している人が少ない。プラごみで日々気になることは、お菓子の袋や個別包装の包み紙をプラごみとして出しているが、「本当に意味があるのか」ということである。汚れていたら、それが焼却のごみに回るのか。どれだけ人手を分別にかけているのか。弁当のシールまでががさないといけないと聞いた。また、洗わないと臭うため洗うが、どの程度きっちりするのか提示してほしい。	プラごみはリサイクルされています。西宮市のごみは収集後に中間処理・圧縮梱包され、日本容器包装リサイクル協会に引渡され、国内で運搬用パレット等、別のプラ製品にリサイクルされており、国内で流通しています。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	ペットボトルは回収後にラベルをはがしているのか。	ペットボトルのラベルとキャップについては、必ず外してからお出しいただくようお願いいたします。ラベルやキャップが付いたまま出されたものについては、市の処理施設にて手選別により除去しております。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	私のところは燃やすごみで、剪定した植木等がたくさん出ている。野焼きの問題で、田園で野焼きをすると苦情が来て、警察や消防が急いでやってくる。稲わらを燃やすごみで出すと膨大であり、「野焼きをやめろ」というのは農家にとって死活問題である。畔の草刈りもごみにするとすごい量である。これの取り扱いはどうすれば良いのか。	廃棄物の野焼き（野焼き行為）は、その煙が悪臭や大気汚染物質を発生させる等、周辺環境に悪影響を与える可能性があることから、畦の除草後の焼却等の農業や林業等を営むために行われるもの、庭等での落ち葉焼却や暖を取るためのたき火等、一部の例外を除いて法律により禁止されています。ただし、例外に該当しているからといってむやみに焼却してよいものではなく、周辺住民から苦情が生じないよう、風向きや燃やす量、時間帯などについて十分に配慮し、近隣の理解を得る必要があります。しかしながら、住宅が密集している地域で野焼き行為が行われた場合は、近隣住民から苦情が寄せられることが多く、そのような場合には、当該行為をやめるよう注意または指導を行っております。なお、稲わら等をもやすごみとして処分される場合は、農業も事業活動に該当するため、ごみステーションに出すのではなく、自ら処理施設まで搬入するか、許可業者に収集運搬を依頼する必要があります。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	農業している人で畔を焼く、必ず近隣の方から通報される。警察や消防は「こんなことをやったら困る」と言うので、煙が立つことはできない。農業をやっている人はこういう状況で、近隣の方から通報されて野焼きができなくなって困っている。北部地域では農業で出るごみも多い。昔は（家庭用の）焼却炉を購入すると助成金が出たことがあった。生ごみのコンポストも購入すると助成金が出たことがあった。ごみに関しても、一般に北部と南部で事情は違う。	ごみステーションに出されたアルミ缶や古紙類等の資源物については、市が収集した後、売却を行っており、売却収入はごみ処理に係る財源に充当しています。しかしながら、第三者による持ち去り行為が後を絶たないことから、条例によりそれらの行為を禁止したものです。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	ごみコンテナに出されたごみを再び勝手に持ち帰るようになってほしい。まだ使える物が沢山あるので、むしろ動めるべきである。まこと宝の山だと思ふ。	現在、破砕選別処理施設の更新に向けた分別排出区分および収集形態の見直しを検討中ですが、蛍光灯等の水銀含有物やスプレー缶等の危険物の収集形態についても、合わせて検討中です。	その他
ごみ・エネルギー ※分別・リサイクル	燃やさないゴミにリサイクルできそうな物（ビン、缶）や危険物（スプレー缶、電池、蛍光灯等）が含まれていて違和感がある。収集コストがかかるかもしれないが、分けて出すようにした方が意識は高まると思う。	現在、破砕選別処理施設の更新に向けた分別排出区分および収集形態の見直しを検討中ですが、蛍光灯等の水銀含有物やスプレー缶等の危険物の収集形態についても、合わせて検討中です。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【アイデア・提案】			
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	ごみ袋を有料化すると、道端や公園に捨てる人が増えると思う。そのため、有料化して得たお金で公園などに監視を付けて、何人捕まったかを教えて欲しい。歩きタバコについても何人捕まったかを市政ニュースで伝えて欲しい。	歩きタバコはポイ捨て行為につながりやすいことから、「快適な市民生活の確保に関する条例」によりマナー啓発を目的とした公共の場所での歩きタバコを控えるよう罰則等はない、努力義務を定めています。なお、現在、ごみの減量及び分別排出を推進するための施策の一つとして、「指定ごみ袋制度」の導入を検討中ですが、有料指定袋の導入は市民の経済的負担が大きいことから、慎重に検討すべきと考えております。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	シルバー人材センターにごみ拾いを1時間につき数百円で委託すれば綺麗になるのではないかと。	道路や公園等の公共の場所の清掃活動については、自治会等の各地域団体の自主活動に依るところが大きい。毎年、6月と12月には、「わがまちクリーン大作戦」を展開していますが、今後も引き続き、より多くの市民に清掃活動に参加してもらうべく、広報啓発に努めます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	レジ袋を少なくするアイデアとして、レジ袋にバーコードなどをつけておいて、買い物の際に自分でそのレジ袋を持っていけば、それを読み込んでポイントがつくというポイント制にはどうか。	食料品量販店等において、レジ袋の受取辞退率を高めるために有料化やポイント付与等に取り組んでまいりましたが、有料化と比較すると値引きやポイント付与は辞退率が低下する傾向にあることが明らかとなっています。本年7月よりレジ袋の有料化が法律により義務付けられる予定ではありますが、価格設定は各事業者の裁量に委ねられています。本市としては、一律有料化を一つの機会と捉え、今後も引き続きマイバックの持参を推進し、プラスチックごみの削減に努めます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	スーパーで買いものする際は、専用かごを買って袋をもらわないようにしている。		甲東センター
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	マイバッグ推奨として、市で西宮市民に向けた世間にも自慢できるようなファッション性のあるオリジナルバックを考えられないか。素材も古くなったら自然に還るような素材で。	市が直接、バッグの製造および販売を行う予定はありませんが、いただいた意見は食料品量販店等の事業者へ伝え、魅力的な商品の開発を呼び掛けたいと思います。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	啓発や教育でできることは限界がある。市役所としてやるにいくことを、呼びかけて市民ファンドなどでやってもらうことも視野に入れてはどうか。そして、バイオガスや太陽光の施設を誘致など、モデル都市になれば良いと思う。	市民を対象にしたエネルギー勉強会などを通して、事業者・大学等と連携した再生可能エネルギーの啓発を実施しています。このような啓発事業を充実させていくことによって市民共同発電などによる再生可能エネルギーの導入を期待しており、積極的に支援やアドバイスを行ってまいります。市民ファンドについては、令和2年度より太陽光の売電要件が大幅に厳しくなることから資金を有効に活用し事業として成立するかについて、他の自治体の動向などの情報収集に努めています。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	既に様々な自治体や企業が「ごみ処理」や「エネルギー政策」にトライしており、成功例や課題も見えてきていると思う。これを基に西宮市が中心になって安心感のあるファンドを市民とともに研究・検討し、示してほしい。バイオガスとともに、太陽光発電を市有地等で導入して、中核都市でのエネルギー自給率のトップを目指せば素晴らしいモデルになると思う。産×官×学×市民で、チームを作ってアイデアを出し合いながら環境モデル都市西宮を創ってかないか。		その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	図書館に、ごみとエネルギーのコーナーを常設してはどうか。できるだけ大きく設ける。今年は食品ロスのコーナーが中央図書館に少しの間設けられたが、不満だった。パネルの数値に誤りがあり、コーナー自体が貧弱だった。	展示&ブックフェア事業については、平成28年度より市内の各図書館（年度により場所は異なります）において約1~2か月間、環境に関するコーナーを設け、実施しています。図書館では、様々な社会的課題に関する展示や特設コーナーを設けて啓発していますが、スペースに限りがあるため、特定のテーマの常設は難しい状況です。今後も引き続き、展示内容の充実にも努めます。	その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	エネルギーの観点から、市役所など市施設のエレベーターに使用の抑制をPRするようなポスターを掲示してはどうか。地方のホテルなどで見かけることがあり、健康にも良い。	本市の事務・事業を対象とした「第三次西宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」では、温暖化に向けた取組みとして「エコオフィス活動」を掲げており、「エレベーター使用の抑制」もその一つとなっています。ポスター掲示につきましては、各施設管理者と調整・検討してまいります。	その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	リサイクルプラザは素晴らしいところである。私の場合、自転車はほとんどここで修理しており、職員の人に色々教えてもらい賢くなった。ただ、場所が遠く、また大きな物が多い。一つのアイデアとして、日時を決めて各家の前に不要品を並べてもらい、誰でも持ち帰れるようにしてはどうか。	各家の前に不用品を並べるとなると、道路や歩道上に並べることとなり、交通の妨げになる等の問題が生じることが考えられます。なお、主なりユース方法として、民間のリユースショップ・インターネットオークション・アプリを利用するなど様々な方法がありますが、市の事業としましても、リサイクルプラザの他、「こどもが店主のフリーマーケット」（年1回開催）、不用品リサイクル情報「Eコウ館」などがありますので、ご活用ください。	その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	ごみの「資源A」と「資源B」がわかりにくい。呼び方そのものがごみの内容をイメージしにくく、また月1回や月2回と捨てるチャンスが少ない。共働き世代には使いづらい。	インターネット通販の普及等によるライフスタイルの変化に伴い、ダンボールの排出量が増加傾向にあることは認識しています。現在、処理施設の更新に向けた分別排出区分および収集形態の見直しを検討中です。新たな分別排出区分等の素案については、一定の方針が定まり次第、市HP等で示す予定です。	その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	紙ごみが出しにくい。市内にコンテナを設置し、いつでも出せるようにしてほしい。また、紐なし紙袋でまとめるでも可能にしてほしい。コンテナはダンボールと新聞、その他雑誌と分けられるようにし、公的な場所やスーパー、ドラッグストア、ホームセンター等商業施設にコンテナ設置してほしい。	古紙類の常設型回収拠点の整備は、古紙類の分別排出を推進する手段の一つとして有効な施策であると認識しています。しかしながら、回収拠点を整備するためには、一定のスペースの確保が必要であり、放火やいたずら等に対する対策も合わせて検討する必要がある等の課題もあることから、直ちに整備することは困難です。	その他
ごみ・エネルギー ※アイデア・提案	古着が出しにくい。中身が見えることなどから古着を透明袋に入れるのは抵抗がある。また、いつでも出せるように市内の公的な場所やスーパー、ドラッグストア、ホームセンター等商業施設にコンテナ設置してほしい。	回収した古着については、主に東南アジア地域に輸出されていますが、輸出先の文化等により再利用できないものが存在するため、再利用できるもののみを回収しており、再利用に適さない衣類の混入を防止するため、中身の見える透明または半透明の袋での排出をお願いします。現在、公共施設やスーパー等の民間商業施設に使用済小型家電の回収ボックスを設置していますが、古着に関しては、現時点では設置する予定はありません。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【評価・実績】			
ごみ・エネルギー ※評価・実績	西宮市が環境学習都市宣言を行い、今まで行政と市民が一緒になって環境学習都市として取り組んできたことに対する良かった点や悪かった点などの評価がどうなっているのかという点が気になる。	「環境学習都市宣言」を具体的に実現していくための計画として、「西宮市新環境計画」を平成17年に策定しました。計画が平成30年度に終了したことから、実績について点検・評価を行うとともに、評価結果を反映し、社会情勢の変化により生じた新たな課題に対応する新たな計画として「第3次西宮市環境基本計画」を平成31年3月に策定しています。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	市民として分別収集に取り組んできたが、これまでの取り組みがどのように有効だったかの評価をするべきではないか。今まで我々市民が取り組んできたことが「無駄だったのか」と捉えられてしまうと元も子もないと思うため、まずはこれまでの評価をきちっとして前向きに進めていくべきである。	市民・事業者が、ごみの減量および再資源化に取り組んできた結果、ごみ全体の減量は進んではいませんが、国および県が掲げる減量目標値や再資源化率には到達していません。今後も引き続き、市民・事業者・行政の三者で連携・協働し、さらなる減量および再資源化への取り組みに努めます。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	西宮市全体のごみ問題については市長の講演であらかた分かったが、各地区ごとで、ごみ総量の増減は明確になっているか。それぞれの地域での問題点を教えて欲しい。	現在、収集人口ベースで約74%の地域を委託業者が収集し、残りの約26%の地域を市が収集しています。各収集車毎の計量データは把握していますが、各車両の収集ルートは町単位等を意識して設定していないため、小学校区単位等の地区別集計の算出は困難です。小学校区単位等のデータ収集を目的とした収集ルートおよび委託地区の地区割変更は、大幅な収集曜日の変更が必要です。また、非効率な収集ルートを組む必要性が生じることから、収集効率の低下に伴う収集コストの増に繋がるため困難です。	上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	地区ごとのごみ量の集計ができていないというのは、「データはあるけども集計できていない」ということか。それとも「元々のデータも取られていない」ということか。		上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	地区ごとにごみ分別や減量した成果が分からないと励みにならないし、活動や行動計画を出しにくい。		上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	フードドライブにはいつも物が入っていてありがたい。レジを通してすぐそのまま入れてくれる人もいます。例えば「1月にこれだけ集まった」や「こんな人に喜んでもらった」というのも必要ではないか。	回収量については、市HPで公表している他、各実施店舗の店頭において、前月の回収実績等を掲示しています。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※評価・実績	小型家電について、回収ボックスにはみ出るくらい入っていることもあるが、全体で回収状況がどうなっているのかわからない。	回収量および各種金属類別の資源化量実績については、毎月、市HPで公表しています。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※評価・実績	色々なごみの分別をやっているが、何にリサイクルされているか。その他プラについて、この3月と6月の市議会で費用対効果について質問されていたが、色々分別をすれば、回収費と売却益でどれだけ費用対効果があるのか。	不燃ごみ中のスチール缶、アルミ缶、その他金属品は、金属の種類ごとに分けられ再び金属製品となっています。同じくガラス瓶は、色ごとに分けられて再びガラス瓶となっています。資源Aのうち新聞紙やダンボールは同製品に、飲料用紙パックはトイレットペーパーになっています。古着は古着やぼろ布としてリユースされています。雑誌、古本、紙箱、雑紙などの資源Bは再生紙となっています。小型家電品は内部の金属を取出して金属製品に、フレームのプラスチック類などは、固形燃料に加工し、製紙工場などのボイラー燃料となっています。また、その他プラは運搬用パレット等に再商品化されています。現状ではリサイクルの大半は採算事業として成立していますが、市場流通価格の影響が大きく、リサイクルの主目的は環境負荷の低減です。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※評価・実績	市でもオリンピックのメダルにレアメタルを集めるという取り組みがあったと思うが、どういう実績になったのか結果を報告しないのか。	「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施主体であり、全体の回収結果については、同委員会のHPにて公表されています。国内の全市区町村数1,741のうち、約9割にあたる1,621の市区町村が参加しましたが、市区町村毎の回収実績までは公表されていません。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※評価・実績	「プラゴミをどれくらいきれいにする必要があるのか？」 「で、それはちゃんと再生されているのか？」 「費用対効果は？」など、意外と大事なことが情報共有ができていないのが現状である。	プラごみ(その他プラスチック製容器包装)の、汚れのひどいものは、リサイクルできないため、汚れを落として出していただいています。但し、汚れを落とす為にお湯や洗剤を使うのは事業の本旨(環境負荷の低減)に反しますので、汚れのひどい物は燃やすごみとして出していただく事としています。リサイクル状況は適宜ホームページで情報を流していますが、多くの市民の方に情報共有していただけるような工夫が必要と認識しています。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【行政】			
ごみ・エネルギー ※行政	マンションが新しく建つ時、独自に民間事業者にごみ収集を委託するところが増え、何でも一緒に捨てられている。独自収集のマンションが増えている現状について、市として許可しているのであれば、西宮市にも責任があるのではないかと。ごみを集めて出すことについて何も指導していない。西宮市として新築マンションにどういった指導をしていくのか。	一定規模以上の住宅を新築する際には、条例によりごみ集積所の設置が義務付けられていますが、行政による無料回収とするか、民間業者による有料回収とするかの選択は自由であり、現時点では独自収集を妨げることができません。なお、ごみ集積所の清潔保持等、適切な管理がなされていない物件については、所有者または管理会社に対して注意・指導を行っている他、入居者に対する啓発チラシのポスティング等を行っています。	上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※行政	西宮市のホームページによれば、家庭ごみは減っているが、事業所のごみは増えている。各事業所に電話してどこの収集業者と契約しているかを確認し、その契約先の業者にも問い合わせをしたところ、その後のごみの行方は不明確である。最終的に市のごみ処理場に行っている。家庭ごみはルールが決まっているが、事業所は不明確である。どうなっているか。	「廃棄物の処理及び清掃に関する」法律に基づき、全ての事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物は自らの責任において、適正に処理することが義務付けられています。事業所から発生するごみは、民間施設で処理される産業廃棄物と市の処理施設で処理される事業系一般廃棄物、民間業者でリサイクルされる資源物に大別されますが、市の処理施設に搬入される事業系一般廃棄物以外のごみまたは資源物の処理先の選択は各事業者の裁量の範疇です。なお、一定規模以上の面積を有する事業者や一定規模以上の多量ごみ排出事業者については、特定事業者と位置づけ、減量計画書ならびに事業系一般廃棄物および資源物の排出量実績の報告を義務付けています。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※行政	環境について市民を巻き込んだ活動をするのであれば、西宮市だけでなく、尼崎市や伊丹市など各市の環境関連部署とネットワークを組んではどうか。かなり成功している市もあるため相談してみてもどうか。	処理部門、収集部門とも近隣7市1町による連絡会を開催しており、ごみ処理に関する課題について、情報共有および情報交換を行っています。また、兵庫県下の8市で環境マネジメントシステムにおいて他市職員が相互に環境監査に参画する覚書を締結しており、他市の環境監査への参画や環境施策の情報交換を目的とした会議を開催しています。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※行政	ごみの排出量は「事業者が多い」ということだが、事業者として一括りにするのではなく、一定規模の企業と飲食店等のお店で2つに分けてほしい。企業は規制がかかっているから守っているが、飲食店等は規制がないため管理できていない。そういった面できっちりと2つを区別して管理してほしい。	「廃棄物の処理及び清掃に関する」法律に基づき、全ての事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物は自らの責任において、適正に処理することが義務付けられており、小規模事業者や飲食店も例外ではありません。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※行政	「植物生産研究センター」は一体何のためにあるのか。趣味の世界で税金の無駄使いではないかと思う。人工合成の花よりも、同じ植物なら、二酸化炭素固定を激的に向上する植物の開発、周年性の緑のカーテンの普及など、今の課題に沿ったものを研究してほしい。いっそのこと「ごみ、エネルギー研究センター」にしてほしい。貝類館も趣味の研究の範囲を脱し切れていないのではと思う。貝類館の一角に、ごみ・エネルギーの危機による生き物への影響を大きく提示すべきかと思う。また、こども環境活動支援協会LEAFでは、生き物や植物栽培などの取り組みが多いと思うが、それらに加えて、時代に即したテーマの取り組みをすべきではないか。	環境学習施設では、それぞれの機能を活かしながら総合的に環境学習の場を提供することを目的に設置しています。環境問題は幅が広いので、各施設における展示内容には限界がありますが、より多くの人にとって環境への気づき、学びの場となるよう工夫していききたいと思います。植物生産研究センターでは、植物バイオテクノロジーを活用した特色ある花と緑のまちづくりを市民ボランティアと協働で進めています。市内公共施設への草花や緑のカーテン用植物の供給、西宮市の市花「さくら」を増殖・育成し提供するほか、夙川公園の松や桜の保全、希少植物等の増殖にも取り組んでいます。今後も花と緑の拠点として、市民との協働を軸に、緑化の推進に努めてまいります。西宮市貝類館では、貝類という生き物を介し、市民が人と自然、環境との関わりを学ぶための機会として、生き物観察会やセミナー等を開催しています。今後も環境学習の拠点の一つとして、自然、環境への理解を深められる場を提供できるよう取り組んで参ります。	その他
ごみ・エネルギー ※行政	川や水路に落ちているごみ、特にプラスチックごみの収集をすべき。以前、市民館でごみの話があったときに「川にはごみを止める柵もないし、川・水路のごみを収集することはしていない」と言われた。しかし、これだけプラスチックごみが問題になり、地域の清掃活動を進めている行政として、また環境学習都市として標榜している街としておかしいと思う。ひどい場合はごみが集積場からそのまま川に転落している場合もある。雨が降って海まで流れて見えなくなれば良いのだろうか。津門川の一部のところでは、地域で回収されており、あの活動が全市に広がればと思う。御前浜でも、プラスチックゴミの回収活動されているが、甲子園浜はどうか。市民レベルではなく、市として取り組むことはできないのか。	市は河川や水路について定期的に除草・清掃を実施しており、その際にプラスチックごみ等の収集を行っています。甲子園浜では、地元自治会やNPOにより海浜の保全活動がされており、行政も活動の支援をしています。また、市では公園管理の一環で、甲子園浜や御前浜・香櫛園浜において定期的に海岸清掃を実施しております。今後とも、各種主体と連携をしながら、水辺環境の保全に取り組んでまいります。	その他
ごみ・エネルギー ※行政	広聴会に参加して実感したことは、結局参加されているのは年配の方、そして各エリアの自治会の長の方など元々意識がある方なんだと思う。でも、これでは恐らくごみの量ひとつをとっても劇的な削減は不可能だと思う。子供たちの未来を考えると不安しかない状況である。長崎県壱岐市や神奈川県鎌倉市、長野県白馬村で既に出されている「気候非常事態宣言」を西宮市も出し、まずは市民への周知レベルを引き上げてほしいと思っている。子供たちに影響すると分かれば意識する人たちも増える。皆が自分事として考えるようになれば変化が現れるので、市のリーダーとして市長にぜひ前向きにさらにスピードを上げてご検討頂きたいと思う。ただし、「非常事態宣言」が全てではないと思うため、他に市民への周知が可能な施策があるのならば、それでも良いと思う。	「西宮市環境学習都市宣言」の冒頭には「いま、地球は危機に瀕しています。これまでの社会経済活動や私たち人間のくらしが、地球温暖化や砂漠化などの問題を引き起こし、自らの生存基盤でもある環境を脅かしています。」とあります。この冒頭の言葉にもあるように、西宮市は気候変動に対する危機感を持っており、様々な年代を対象にした環境学習を展開していくことによって、市民への周知が図れると考えています。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【計画】			
ごみ・エネルギー ※計画	愛媛県松山市役所には「一人一日あたりのごみの排出量が日本一少ない都市」といった内容の横断幕が張られていた。西宮市役所でもPRして欲しい。ごみの削減について目標値はあるか。	この度、新たに策定した第7次西宮市一般廃棄物処理基本計画において、令和10年度までに生活系ごみはH28年度比で10%、事業系ごみについてはH28年度比で20%削減することを目標としています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※計画	「第3次西宮市環境基本計画」の内容に関する勉強会を広く市民対象に実施すべきである。「ライフサイエンスセミナー」や「シニア大学」などがあるのに、こういった内容のことは遅れていると思う。計画書の内容は、素晴らしいものだが、記述内容と周りの状況に乖離があるように思う。審議会や温暖化防止防止協議会などもあるようだが、計画と実施レベルの検証をされているのか。	2019年度より「第3次西宮市環境基本計画」がスタートし、5月には「環境まちづくりフォーラム」を実施し、本計画の内容紹介を行いました。今後、市民・事業者・専門家で構成された環境計画推進パートナーシップ会議において、本計画の進捗管理を行い、環境施策を推進していくこととしています。	その他
ごみ・エネルギー ※計画	「第3次環境基本計画」が計画期間が2019～2028年となっているが、そんな悠長なことでの良いのか。「COP（Conference of Parties）」に合わせて計画実績の検証、新たな計画を作成すべきではないか。	計画の取り組み状況について毎年把握し、中間年次である2023年に、総合計画の改定状況や社会情勢等を考慮し、必要に応じて見直すこととしております。	その他
ごみ・エネルギー ※計画	「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」について、内容と表紙、裏表紙の写真のイメージが合わない。内容のごまかしかと思わざるを得ない。私たちのライフスタイルをシビアに変えざるを得ない時に、桜や紅葉をイメージしてどうするの。危機感が感じられない。裏表紙の記載内容は、実行・実績レベルの内容ではないと思うので、温暖化防止でライフスタイルを強力に変えるような実績を紹介してほしい。	「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」概要版の表紙は次世代に引き継ぐべき自然のイメージを、裏表紙は環境学習都市として実施している様々な取り組みを載せているほか、ライフスタイルの見直し等については、見開き部分に掲載しています。その他、市ホームページやその他の媒体を活用し、温暖化防止に向けたライフスタイル等を紹介していきたいと考えています。	その他
ごみ・エネルギー ※計画	「環境基本計画」の内容は、その通りのことと思うが、内容について市民が興味を持ち認識、実行できるレベルまでどのようにしていくのか。机上で考え、パンフレットを作成して終わりではないだろう。市内では音楽や芸術、スポーツ、グルメなどの情報が溢れているが、例えば「ノーマイカーデー・エコドライブ」について普及啓発するときはあるのだろうか。	2019年度より「第3次西宮市環境基本計画」及び下位計画である「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、「西宮市一般廃棄物処理基本計画」、「未来につなぐ生物多様性にしのみや戦略」がスタートしており、これらの計画に基づき、具体的に環境施策を進めています。また、阪神間では、毎月20日を「ノーマイカーデー」としており、市政ニュースへの掲載や窓口でのポケットティッシュの配布等により、呼びかけを行っています。エコドライブについても、市ホームページや各種イベントなどで啓発を進めていきます。	その他
ごみ・エネルギー ※計画	市の資料について色々良いものを作成されているが、それらを市民にどれだけ伝えられているのか。例えば、私の体験だが「第3次西宮市環境基本計画」については、「2019年度環境まちづくりフォーラム」で、担当の方が短い時間でお話されただけである。ごみ・エネルギーの問題は、余程のことがない限り、市民が触れる機会はないと思う。スローガンや計画を作るだけでは、未来はない。何か内容を聴いたり、考えたりする機会を設けていただきたいと思う。	2019年度から「第3次西宮市環境基本計画」及び「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、「西宮市一般廃棄物処理基本計画」、「未来につなぐ生物多様性にしのみや戦略」の個別計画がスタートしています。これらの計画に基づき、エネルギーやごみなどの環境問題について各種講演会や勉強会などを実施しておりますが、より多くの人にとって環境への気づき、学びの場となるように内容を工夫していきたいと思っております。	その他
【施設】			
ごみ・エネルギー ※施設	西宮市のごみの現状がこの市政報告・広聴会ではじめて分かった。東部総合処理センターでごみ発電をしているようだが、どれくらい効果があるのか。	東部総合処理センター、西部総合処理センターともごみ発電をしています。西部総合処理センターでは、平成30年度、発電した電力のうち約半分を場内で使用し、残りの電力は電力会社に送電し、約1億4,600万円の収入を得ています。東部総合処理センターでは、平成30年度、発電した電力のうち約3割を場内で使用し、残りの電力は電力会社に送電し、約3億7,500万円の収入を得ています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※施設	西宮市には西部総合処理センターと東部総合処理センターがあり、発電しているのは知っているが、その他に排熱はリサイクルしているのか。リソ鳴尾浜は東部総合処理センターの排熱を利用していると思うが、西部総合処理センターの付近にはそのような施設がない。	西部総合処理センター、東部総合処理センターで発生した廃熱は、発電だけでなく、ごみを焼却するための燃焼空気の加熱、機器の保温など、ごみを処理するための熱源として使用されています。西部総合処理センターでは場内や隣接した環境事業部庁舎の空調や給湯にも利用されています。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※施設	自分のごみがどうなっているか知らなかったので、西宮市の焼却場に見学に行きたいと思ったが、10人以上の単位でないと申し込みができないので断念し、代わりに大阪の舞洲のごみ処理場に見学に行った。舞洲では1、2人でも受け入れてくれるうえ、オープンデーもあるため行って来た。せめて、4、5人なら母と子供でも2家族くらいで行けるので、西宮市のハードルを下げて欲しい。少人数やオープンデーを作ってくれたら行ってみたい。	清掃工場に興味・関心ありがとうございます。本市も、多くの方に西宮市の収集された「ごみ」が処理センターに運ばれた後、どのように処理されるのか。現在のごみ問題も一緒に考えていけるよう少人数でも見学できるオープンデーなどを検討します。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※施設	暖房や冷房の適正温度管理はどうなっているのか。市管理の施設でも、熱中症が怖い、苦情があるなどと、逃げていないだろうか。せめて、呼びかけのポスターを作って貼付すべきかと思う。	夏季・冬季それぞれに省エネ期間を設けており、公共施設の空調は環境省が推奨する室内温度を目安とした適温設定とし、啓発ポスターを配布しています。ただし、中央病院や、高齢者・乳幼児が利用する施設では、施設利用者に配慮した温度設定としています。なお、ポスター掲示については、掲示スペースに限りがあることから、各施設の判断としています。	その他
ごみ・エネルギー ※施設	西宮市では、西部総合処理センターにごみの持ち込みができることは良心的だと思う。	本市では、ごみ電話受付センターを設け事前に持ち込みされる内容を聞き取り、前日までの予約での持ち込み搬入を受け付けているところです。しかしながら、近年持ち込み件数が増加し場内の混雑が顕発しております。資源ごみのリサイクルや粗大ごみのリユースにもご協力お願いいたします。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【収集】			
ごみ・エネルギー ※収集	ごみの回収時間がまちまちなので、一定にして欲しい。	現在、本市では、ごみの収集は朝8時から順次実施しており、市民の皆様には、収集日当日の朝8時までにごみ出しをしていただくようお願いしています。収集の時間帯はなるべく一定の時間になるよう心掛けてはいますが、当日のごみ排出量や交通事情等の様々な要因により、収集時間帯が前後することは避けられません。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※収集	ごみ収集車の運転スピードが速い。危険を感じるため、スピードを抑制して欲しい。	収集担当職員および市内の一般廃棄物収集運搬業者に対し、安全運転を徹底するよう注意・指導を行っています。もし、今後も見かけた場合には、収集車両の色・ナンバー等の具体的な情報をお知らせいただければと思います。今後も引き続き職員の服務規律の徹底を図り、市民の皆様から批判を招くことのないよう指導を徹底し、公務員としての意識向上に取り組みます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※収集	手間がかかるため難しいかもしれないが、尼崎市のように個別収集すれば、各家庭ごとのごみ出しの特徴を収集担当者間で、情報共有できる。また、危険なごみの出し方をする家に直接呼びかけることが可能になると思う。	戸別収集方式には、カラスによる被害の減少、分別排出の徹底が見込まれるといったメリットがありますが、収集作業効率の著しい低下に伴い収集コストが大幅に増加するデメリットもあることから、本市ではステーション方式を採用しています。	その他
ごみ・エネルギー ※収集	ごみ収集車の運転について問題があった場合、直営であれば直接指導などができるが、委託では難しいだろう。雇用の推進にもなると思うので、全て市営にした方が良いと思う。収集車が足りなければ、それだけレンタルしてはどうか。	市は一般廃棄物の処理に関する統括的な処理責任を有していますが、合理的かつ経済的な事業の遂行も求められていることから、直営部門は必要最低限度の規模を維持しつつ、民間業者への委託化を進めてきた経緯があります。市は、委託業務の発注者として受託業者に対する指導監督を行う権限を有しており、問題が生じた場合には注意指導を行っています。なお、収集車の台数については、市および受託業者が保有している台数で特に不足は生じておりません。	その他
【集団回収】			
ごみ・エネルギー ※集団回収	資源ごみについて、山口地区ではかなりの地区で民間業者に委託をして集団回収してもらっている。市としてはこれを推進しているのか。	再生資源集団回収を行うことにより、自治会等の各実施団体は市から奨励金が得られ、各団体におけるごみ減量および再資源化の推進や地域活動の活性化に充てることが可能となるため、より積極的な分別意識が働く効果が得られております。また、市側としても、収集コストの削減および再資源化が促進される等のメリットがあるため、今後も推奨すべきであると考えております。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※集団回収	市に回収してもらおうと西宮浜まで運ぶ運搬費がかかるので、山口地区全体で集団回収の取り組みをしたらいいと思う。少しでも収集するものがあると、パッカー車が南部から来なければならないので。	市が資源ごみとして収集する場合は、西宮浜にある施設まで運搬する必要が生じますが、再生資源集団回収の場合は、各実施団体が回収業者を自由に選べるため、市外業者に引き渡すことも可能です。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※集団回収	私の地域では、8種類の資源回収を行っている。市からキロ3円の補助が出るので、年間に60～70万円の補助になっている。業者が買ってくれるものもあり、それもあわせるとかなりの額になる。自治会単位で補助が出るので、もっと実施すれば良いと思う。	再生資源集団回収奨励金の交付対象団体は、自治会等の営利を目的としない団体であり、概ね構成世帯数が20世帯以上または構成人員が20人以上で代表者が選任されており、年2回以上かつ1t以上（半年間で500kg以上）の古紙・古布・アルミ缶などの再生資源を回収する団体です。近年、実施団体数は増加傾向にありますが、今後も引き続き周知啓発に努めます。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※集団回収	私の地域では、資源の集団回収を月2回実施している。段ボールや新聞、アルミ缶、古着などを回収しており、市からの補助金を入れて年間80万円程度になる。そういった収集場所のフェンスを作ったりしており、将来的にそういったものが壊れた際の修繕の基金も作った。これには自治会に入っていない方も参加し、地域ぐるみでやっている。また、業者との契約で、高齢者の場合は自宅前まで収集に来てくれるようになっており、とても助かっている。ただし、今後業者がいつまで回収を続けてくれるかという不安がある。	再生資源集団回収により集められた資源物の回収については、各実施団体と回収業者間における民間契約に基づくものです。どこの回収業者と契約するかは各実施団体の判断です。もし、何らかの事由により再生資源集団回収を取りやめる場合は、行政回収で対応することになります。	山口公民館
【生物多様性】			
ごみ・エネルギー ※生物多様性	エココミュニティ会議で池の生物調査員をしている。担当者に「生物多様性・動物の繁殖のために50センチ草を残して」とお願いするが、結局、掃除をする部署は違うとのことと全部草を刈られてしまう。市役所の中で横の連絡はどうなっているのか。環境学習都市と言いながら部門が離れているとまた違う。自然が減れば住みたいまちでなくなっていくのではないのか。	生き物の生育環境を確保するため、関係課で連携して業務にあたります。なお、河川等の除草の際にはホタルや野鳥の保護のため、除草方法・時期等を調整している事例がございますので、自治会等の地域団体からのご要望をいただければ調整させていただきます。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※生物多様性	猫は町に居てほしいし、糞もあって良いと思う。カラスも虫も雑草もあって面白味のある町が良い。そういう声があがってこないのが不思議だ。	猫につきましては、動物の愛護及び管理に関する法律の目的として、人と動物が共生する社会づくりとされており、市としても法律の趣旨に則り普及啓発に努めてまいります。その他、環境衛生上の問題や生物多様性の保全など、様々な問題に配慮をした上で、個別の事案に応じて、自然と共生するまちづくりに向けた啓発に取り組みます。	その他
ごみ・エネルギー ※生物多様性	「掃除」と「自然」は市役所では担当部署が違うかもしれないが、他の生き物を追い詰めることの無い様に連携して取り組んでほしい。草原や森にはそれぞれ生き物がいるので、草刈りや伐採すべきか等は、あちらを立てればこちらは立たずで、簡単に答えが出るはずは無く、非常に慎重にすべき問題だ。当然ながら私も答えを持っていない。	生き物の生育環境の確保も考慮して、個別の事案に応じて関係課で連携して業務にあたります。	その他
ごみ・エネルギー ※生物多様性	ブラごみ問題では海の見える大きな生き物が可哀そうというのを歌い文句にしていることが多いが、不快だと思う人がいるだけで退治される不快害虫の類はもっと可哀そうである。かわいくて目立つ大型の生き物以外の生き物にも配慮し、自然現象は色々なところで繋がっていることを忘れてほしくない。	ご意見のとおり、自然界では様々なところで生き物同士の繋がりがあり、それらの絶妙なバランスが保たれることにより、私たちの暮らしは成り立っています。従いまして、生き物の駆除については、明確な目的のもと、計画的かつ適切に実施させていただきます。なお、本市におきましては、感染症を媒介する衛生害虫対策として、下水道等に対する薬剤散布による駆除及び発生抑制に努めております。また、感染症を媒介しない不快害虫につきましては、アレルギーの原因となる可能性がある等、市民の生活環境に影響があるものもございますので、下水道等に対する薬剤散布により発生抑制に努めております。ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【太陽光発電】			
ごみ・エネルギー ※太陽光発電	西宮市の太陽光発電の補助制度は長期優良住宅又は低炭素住宅に該当する新築住宅のみである。私は最近太陽光発電と蓄電池を導入したが、10年以上前に家を建てているので、補助制度の対象にならなかった。今後、太陽光から蓄電池にシフトしていくと思うが、10年以上前に建てた家も補助対象になるようにしてほしい。	より多くの市民に対し、温室効果ガスの削減のみならず、異常気象や自然災害など防災面の効果が見込まれる機器の導入を促進できるような補助制度を検討していきます。	上甲子園公民館
ごみ・エネルギー ※太陽光発電	西宮市の自然エネルギーの利用率はどうなっているか。公共の場所であり太陽光発電を見かけない。もう少し自然エネルギーの利用を市として取り組むべきではないか。	西宮市の公共施設では、2018年度までに23か所に太陽光発電設備を設置しています。引き続き、新增施設への太陽光発電設備の導入について、費用対効果等を考慮し、関係部局間で調整しながら検討していきます。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※太陽光発電	自然エネルギーに対する市の認識はどうか。太陽光発電は良いことだが、無秩序な設置の懸念がある。ビルでも太陽光発電を屋上設置しているが、西宮市の公共施設ではあまり見ない。今後どうしていくのか。	「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」では、温室効果ガスの削減に向けた取り組みの一つとして、再生可能エネルギー等の推進・普及啓発を掲げています。 近年、全国的に大規模太陽光発電設備の乱立が問題となっていることから、西宮市においては、「快適な市民生活の確保に関する条例」で、事業区域が300㎡以上の太陽光発電設備を設置する際には、事前に周辺住民への周知を図ったうえで届出をすることとしています。 西宮市の公共施設では、2018年度までに23か所に太陽光発電設備を設置しています。引き続き、新增施設への太陽光発電設備の導入について、費用対効果等を考慮し、関係部局間で調整しながら検討していきます。	塩瀬公民館
ごみ・エネルギー ※太陽光発電	太陽光発電設備について、急斜面などの開発という面では森林法で許可された上でのものになるかと認識しているが、そこでは地域住民の反対があったとしても合意形成の努力さえしていれば許可が出るというふうになっていると思う。そこで、平成29年にできた市条例による届出義務（300平方メートル以上）と県条例（5,000平方メートル以上）による届出義務は知っている。条例でも届出をして地域住民との協議が必要となっていると思うが、地域住民が断固反対の意思表示している際の住民の意思のくみとり方はどうなっているか教えてほしい。	西宮市の「快適な市民生活の確保に関する条例」では、事業区域が300㎡以上の太陽光発電設備設置にかかる届出に際し、事前に事業計画の内容について地域住民の理解を得るために、地域住民との協議を義務づけています。 届出には地域住民の同意までは必要としていないため、反対の意思表示がなされている場合であっても、届出の受理を拒むものではありませんが、地域住民の理解を得よう求めています。	塩瀬公民館
【生ごみの分別】			
ごみ・エネルギー ※生ごみの分別	提案であるが、事業所内のごみの問題点として、生ごみが多い。スーパーで弁当を作ると廃棄されるものが多い。事業所の生ごみをたい肥にし、EMたい肥とEM菌を農家に配ると水の浄化やたい肥につながる。事業所から回収し、ボランティアでEM菌を使ってEMたい肥を作り、兵庫県の農家に配る。そこでできた野菜をフードバンクから働けない人や社会的困難がある人に配る。栄養価の高い農作物をもらってフードバンクに届ける。そうするとまるくつながって、環境の底上げができるのではないか。	各事業者は、法律により「その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならず、廃棄物の再生利用等を行うことにより、その減量に努めなければならない」と定められています。なお、食品残渣や売れ残りの食品等については、食品リサイクル法に基づく再利用に努めることも求められており、どのように取り組むかは各事業者の判断によるものです。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※生ごみの分別	家庭ごみのごみステーションに生ごみを分別して捨てることを作りリサイクルすれば、ごみが減るのではないかと。	生ごみを分別排出していただくためには、臭気対策やカラス被害対策を行う必要がありますが、現在、本市に存在している約16,000ヶ所のごみステーションの内、約10,000ヶ所が道路や歩道上に存在していることから、全てのステーションに対してそれらの対策を講じることは非常に困難です。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※生ごみの分別	燃やすごみの中の水分を少なくするために生ごみコンポストをやってみようと思ったが、虫がわいたりするかもしれないので不安がある。以前コンポストブームがあったので、コンポストの経験者にお話しが聞けたりする場がほしい。	平成12年度より、生ごみ処理機の購入費用の一部補助を実施していましたが、年々申請件数が減少し続けたため、市全体の補助金事業のあり方についての見直しを行なう中、平成30年度をもって廃止した経緯があります。現在は、安価で手軽に取り組むことが可能な「ダンボールコンポスト」を市HPやフラワーフェスティバル等で案内しています。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※生ごみの分別	生ごみに関してコンポストのことを言っている方がいたが、私はホームセンターで市販のコンポストを買って、毎日生ごみを入れて処理している。EM微生物とぬかと混ぜたものを3グラム入れて混ぜている。毎日混ぜているが、2、3日おいても虫が出たことはなかった。畑に埋めたりして、生ごみを減らせればいいと思う。冬の間はコンポストに入れても虫はわからない。		山口公民館

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【バイオマス】			
ごみ・エネルギー ※バイオマス	生ごみは水分が多く、燃えにくいため本当は燃やすには適していない。他市では、生ごみを分別収集してバイオマス発電に利用しているところもある。作業効率を考えた上でだが、生ごみも分別収集できれば、燃えにくいごみを利用してエネルギーを生み出すリサイクルの一つの手段になると思う。	生ごみの分別収集は、市民の手間、分別排出方法、市の収集効率、臭いやカラス対策などごみステーション周辺の環境への影響を考慮すると、困難と考えます。 一部の自治体ではもやすごみを処理施設で前処理して、メタンガス化に適したごみだけを分別し、バイオマス発電に利用しています。もやすごみからメタンガスを発生した後は約9割の残渣が発生するためそれを処理するための焼却施設も併設する必要があります。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※バイオマス	生ごみや下水からバイオガス生成、いわゆるメタンを取り出して発電をする。日本ではあまり実施しているところはないが、愛知県豊橋市では実施している。世界的に見れば、東南アジアやアフリカでは商業化される段階にあるかと思う。西宮市でも生ごみからのバイオ発電を検討してはどうか。	西部総合処理センター焼却施設の更新を予定しており、計画の際には、従来方式である焼却炉だけでなく、バイオマス発電等の可燃ごみの処理方式について、西宮市のごみ質がどの方式に適しているか、発生するバイオガスなど副生成品の利用方法、残渣の処分方法等を考慮し、効率的な処理方式を導入します。	甲東センター
ごみ・エネルギー ※バイオマス	市政報告・広聴会の資料によると、燃やすごみの内訳として紙ごみと生ごみで50%を超えているので、この部分をきちんと分別収集し、バイオマス発電を軌道に乗せるとかなりの成果が出せるのではないかと期待している。		その他
ごみ・エネルギー ※バイオマス	兵庫県や県下の自治体でバイオマスをやっている。今回の話ではバイオマスの話が全く出てきていない。下水汚泥や食品ロスもバイオマスで解決することもある。西宮市には工場が少ないが、北部には燃料となる森林資源がある。	本市の下水汚泥については、兵庫県の施設で広域処理されているので、バイオマスを行うためには生ごみ等、ごみからバイオマスに適したごみのみのバイオマス利用となります。なお、バイオマス処理に使用する木材は剪定枝が主となりますが、剪定枝の発生実績量、季節変動などを考慮し、有効であるかの検討が必要です。	塩瀬公民館

【環境教育】

ごみ・エネルギー ※環境教育	ごみの分別について市民に認識が足りないことを痛感している。娘の家でも全然分別していない。共働きで忙しいこともあると思うが、プラスチックでも何でも燃やせばいいと思っている。提案としては、子供の環境学習に関わっていた際、牛乳パックは洗って出してと子供たちに教えたところ、あるお母さんから「家で分別をしていなくて子供に怒られた」という話を聞いた。子供たちが自分でできるごみのことについて、教育委員会の中で取り組みをしていくことができないか。子供たちに手伝いをさせたいと思う。	西宮の小学校4年生が社会科で使用している副読本「わたしたちの西宮」の第4章「健康なくらしをささえる」という単元の中に、環境について考える学習があります。その中の「環境会議」という学習活動のページに、『牛乳パックを洗って、切り開いて回収ボックスに入れます』、『ペットボトルも食品トレーもきれいに洗って回収ボックスに入れます』との記載があり、牛乳パックはもちろんのこと、資源を大切にすることやリサイクルの重要性を学んでいます。また、各家庭での環境を守るための取組みが実践できているかどうかをチェックする「我が家のエコチェック」のページもあり、日常生活に根ざして、環境保全について考える機会を大切にしています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※環境教育	子供が親の手伝いをするなど、みんなでゴミの出し方について積極的に考えていく機会が増えればよいと思う。また、感受性が豊かな小学生のうちに、環境の部署と教育委員会とが連携して、環境教育にしっかりと取り組んでいってもらいたいと思う。	小学校4年生を対象に、環境局の職員が小学校へ出向き、ごみの分別およびリサイクルへの関心や理解を深めてもらうことを目的とした「出前授業」を実施している他、ごみ処理施設の見学の受け入れを行っています。また、夏休み期間には、親子でごみ処理施設等を見学する「親子で環境バスツアー」を実施する等、次世代教育に取り組んでいます。	その他
ごみ・エネルギー ※環境教育	学校教育に対し、ごみ・エネルギーのことを知らせる場はあるのか。海外や他市の学校教育の取り組みなど研究されているか。	また、エネルギーについても学校からの要請により出前講座を実施している他、夏休み期間には子供を対象とした「エネルギー勉強会」を実施しています。	その他

【高齢者のごみ出し】

ごみ・エネルギー ※高齢者のごみ出し	お亡くなりになった方のごみの量は膨大である。その処理するのにシニア一人で片付けるのは体力的にもしんどく、様々な手続きなど時間的制限もあるため分別も難しい。現場にきて片付けのアドバイスをくれるごみアドバイザーを派遣するようなシステムがあれば良いと思う。	今後、高齢化が進む中で、一定のニーズはあるかもしれませんが、本来は個人またはその親族等で一定の解決を図るべき問題です。一方で、核家族化や親族間あるいは地域の繋がりの希薄化等の現代社会が抱える課題に付随する問題でもあります。本件について、行政サービスとして取り組む必要があるかどうかについては、慎重に検討すべきであると考えます。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※高齢者のごみ出し	1回100円程度の費用で近所の方が高齢者のごみ出しを手伝ってくれるという制度をテレビで観た。高齢になってくると「今日は何曜日だったか」や「いつ捨てるのか」などが分からなくなってきて、ごみを出す作業も大変になってくる。	本市では、概ね65歳以上の独居高齢者かつ要介護2程度で、自宅からごみステーションまでのごみ出しが困難な方等を対象に、玄関先まで出向いてごみの収集を行う「にこやか収集」を実施しています。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※高齢者のごみ出し	一人暮らしで高齢になると体調が悪くなりごみステーションに行けないことがある。高齢者で体調不良の場合など、どうしたらよいか。		甲東センター

【食品ロス】

ごみ・エネルギー ※食品ロス	山口地域でフードドライブを実施している店舗はあるか。	コープ西宮北で実施しています。	山口公民館
ごみ・エネルギー ※食品ロス	市役所の玄関や、市の施設の玄関に、フードドライブの回収箱を設けてはどうか。	フードドライブに関しては、立地や営業時間等の利便性や利用客数も考慮し、公共施設ではなく、食料品量販店にて実施しています。	その他
ごみ・エネルギー ※食品ロス	食品ロスの問題で、フードドライブの取り組みが市内でも始まったが、食べきり運動（30・10運動）についても取り組むべきである。国内の他市町村では、取り組みが増えてきている。「環境学習」から「環境学習実践」へはやく脱皮すべきと思う。	「30・10運動」に関しても、ハローごみや市のHP等の各種広報媒体を通じて推奨しています。飲食店等で発生する食品ロスは、事業者側における仕入れ量や調理方法、きめ細やかなメニュー展開等の工夫により一定の削減効果は期待できますが、消費者側の意識改革によることも大きいです。今後も引き続き、食品ロスの削減について周知啓発に努めます。	その他

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
【助成制度】			
ごみ・エネルギー ※助成制度	生ごみを減らすために生ごみ処理機助成金制度を検討してほしい。また、その効果がどれくらいあるのか検証するためのモニター募集も検討してほしい。	平成12年度より、生ごみ処理機の購入費用の一部補助を実施していましたが、年々申請件数が減少し続けたため、市全体の補助金事業のあり方についての見直しを行なう中、平成30年度をもって廃止した経緯があります。	その他
ごみ・エネルギー ※助成制度	花の蓋は高齢化率が高く、ごみ出しの後片付けについて検討している。ネットの形状を変えることは、自治会で取り組むことなのか。自治会に属さない人のごみの取り扱いをどうするか悩ましい。ネットなど用具の管理について市としてどう考えるか。	本市では、ごみステーションの維持管理は利用されている方々に委ねていますが、必ずしも自治会単位で管理されているところばかりではありません。なお、カラス除けネットを利用するかどうかについても、利用者間で協議の上、判断していただいているものであり、ネット等の購入費用についても、利用者負担をお願いしています。	塩瀬公民館
ごみ・エネルギー ※助成制度	ごみ出しの収集ボックスについて、蓋付の物を自治会で作ったのだが、収集ボックスは市で作るものなのか、自治会で作るものなのか。	本市では、ごみステーションの維持管理は利用されている方々に委ねていますが、必ずしも自治会単位で管理されているところばかりではありません。なお、カラス除けネットを利用するかどうかについても、利用者間で協議の上、判断していただいています。なお、収集ボックス等の構造物を使用する場合は、必ず事前に収集担当課との協議が必要です。	塩瀬公民館
【省エネ】			
ごみ・エネルギー ※省エネ	「冷蔵庫の詰め込みは電気のコムダ」と言われるのは、どこに何を入れたか忘れてしまい扉を開けたまま探している時間が長くなるからではないか。よく言われることを鵜呑みにしてはいけません。	冷蔵庫内部の隙間を空けることにより、冷気の流れを妨げることなく、庫内が均等に冷えるようになるため、省エネにつながります。しかし、ご指摘のように扉の長時間開放によっても電気の無駄遣いにつながりますので、省エネにつながる様々な取り組み方について情報発信や啓発に努めてまいります。	その他
ごみ・エネルギー ※省エネ	省エネ製品を買うことも、元の製品が壊れてしまった時だけにしたい。省エネ製品とはいえ、作るのに材料もエネルギーも要する。	環境省が実施している温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」では、ご家庭における省エネ行動とあわせて省エネ製品への買い替えを促進しています。一方、省エネ製品を製造する事業所においても、機器の省エネ化を推進するとともに、使用する原材料などをリサイクル素材や自然由来素材へ転換することによって、環境への影響を少なくする努力がなされています。	その他
ごみ・エネルギー ※省エネ	昔の製品は丈夫で壊れにくく、最新の賢い製品ほど壊れやすい。昔の製品を使っている人はなるべく手放さずに大切にしたい方がよいと思う。	製品の省エネ化は年々進んでおり、最新の製品に交換するだけで省エネにつながります。特に冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンなどの家電製品が、家庭における電気使用量の半分近くを占めているため、これらの買い替えによって大幅な省エネが期待できます。	その他
【まちの美化】			
ごみ・エネルギー ※まちの美化	地域で掃除をしているがタバコの吸い殻が多く、公園に捨てられていることが多い。例えば、市で携帯灰皿を半額補助し持たせるようにすれば良い。	本市では、「快適な市民生活の確保に関する条例」により公共の場所での歩きタバコを控えるよう努力義務を定めるとともに、公共の場所での空き缶等のポイ捨てを禁止しています。この条例に基づいて、市内主要駅（10駅）において、啓発ティッシュの配布など歩行喫煙者やポイ捨て防止の啓発を行っています。携帯灰皿については、マナー啓発に活用していますが、どこでも喫煙できることを推奨することにつながるというご意見もあり、補助を行うことは考えておりません。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※まちの美化	環境教育として1年に2回「わがまちクリーン大作戦」をしているが、参加者が来てくれない。学校教育はどうなっているのか。先生から行くように呼び掛けてほしい。	「わがまちクリーン大作戦」は、自治会等の各種地域団体や企業単位で参加してもらっています。今後も引き続き、より多くの市民に清掃活動に参加してもらうべく、西宮市環境衛生協議会および西宮市ごみ減量等推進員会議と連携し、広報啓発に努めます。また、学校教育では、小学校4年生の社会科の「健康な暮らしを支える」のなかで、EWCの活動や地域が行う環境活動にも触れており、さらに各校にて学校だより等で周知するなどの工夫のもと、趣旨を理解し、地域との連携を進めていきます。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※まちの美化	町の掃除は、ごみが積もって危険な程でなければ必要ない。ごみの減量とは何の関係も無い。あくまで個人的な感覚としては、綺麗で整然としている町は居づらい。	ポイ捨てごみや不法投棄物をそのままにしておけば、さらなるポイ捨て行為等を引き起こす要因となることから、まちの美観や清潔の保持に努める必要があると考えます。	その他
【災害ごみ】			
ごみ・エネルギー ※災害ごみ	災害ごみの量がすごい。いかに自分たちがものに囲まれて生活しているのかを感じる。災害ごみの処理に1~2年かかるというが、昔はあんなに災害ごみが出ていなかったように思う。物を持ちすぎていると思う。	災害廃棄物の量は、災害規模・状況により、大きくことなりますが、推計方法として、災害廃棄物の発生量の推計方法（環境省）にあります原単位が用いられます。阪神・淡路大震災（113 t/棟）と東日本大震災（116.9 t/棟）とあり、近年の震災の方が多い傾向にあります。また、処理期間については、阪神・淡路大震災ではおよそ2年、東日本大震災ではおよそ3年かかっています。	今津公民館
ごみ・エネルギー ※災害ごみ	災害ごみの問題が大きく取り上げられているが、災害ごみの処理について対策は取られているか。	災害発生時、一時的に多量発生する災害廃棄物に対する処理を行うために、「西宮市災害廃棄物処理計画」を策定しています。「大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会」に参画し、国、兵庫県、他自治体との情報共有、広域連携に取り組むとともに、「兵庫県災害廃棄物処理の相互応援協定」、「災害時における生活系一般廃棄物の収集運搬に関する協定」を締結し、相互協力体制を構築しています。	上甲子園公民館

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

●その他、以下のようなご意見をいただきました。貴重なご意見、ありがとうございます。

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	会場
ごみ・エネルギー ※その他の意見	かつて西ドイツのある街では、ビンの色にあわせたボックスにビンだけが通る穴が空いており、ビンと同じ色のボックスにビンを入れてほしいとされているのを見た。当時日本では何でも一緒にごみ袋に入れて処理していた時代だったこともあり、今でも印象に残っている。限られた場所だけで良いので、西宮市でも似たようなものを作れば、子供たちや市外から来る人たちに「こういうことをやっている街なんだ」と意識づけられる。こういった印象に残るような何かを適した形でできれば面白いと思う。	神原公民館
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみにしても、エネルギーにしても、市民のモラルである。総論では誰も反対しないが、各論にいくと年代によって考え方が違うため反対の部分が出てくる。抜本的に良いことはやっていかなければならない。市民のことを慮ってやらないというのはよくない。孫や子のことを考えて中核市の見本に西宮市はなるべきである。職員が良い企画立案をして、我々市民が頑張っていけないといけぬ。	鳴尾中央センター
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみやエネルギーに関する幅広い取り組みを行い、近隣市と政策を共同して兵庫県下で広げてほしい。	塩瀬公民館
ごみ・エネルギー ※その他の意見	地球温暖化などグローバルな課題に自治体としてどう対応するのかの視点があってもよいと思う。	その他
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみやエネルギーの問題は、縦割りの行政組織ではもはや解決できず、専門の横割り組織が必要と思う。ごみやエネルギーに関する方面の専門家は市役所にいるのか。外部ではなく、市内の在住の方でないといけないと思う。生き物についての専門家は市民レベルでもたくさんいるようだが。これからの時代は、そのような趣味的なことも大切だが、生き物（人類も含めて）を守るために、何をすべきかを認識し、実行すべきである。	その他
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみ・エネルギーの問題は、テーマが大きいため、市行政としてどこまでできるのかと思う。世界や世の中の流れが、一向に改善されないままで殆どの人は「認識していない」また「対応していない」ように見える。40年前から「まだ間に合う」と言われていたが、根本的な改善につながる方向性は見えない。国際的なレベルでも統一とれないままで絶望的である。人類の運命かと思う。	その他
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみ・エネルギーの問題は、我が国の市民レベルの生活方向性と真逆にあるのではと思う。認識することだけ、議論することだけで満足しているのではと思う。相当の荒治療、覚悟がないとこの方向性は変えることはできないだろう。	その他
ごみ・エネルギー ※その他の意見	ごみ・エネルギーの問題について、現状では市行政として、また市民として、小さいことを取り組むことしかできないと思う。市民、国民が、そのような方向を選べば、企業、国家も変わざるをえないかなと思う。	その他